

日本学術会議地域研究委員会
人文・経済地理学分科会
(第 25 期 第 2 回) 議事要旨

日時：2021 年 11 月 7 日（日） 10:00～12:30

会場：ビデオ会議にて開催

出席者：松原 宏、矢野桂司、井口 梓、池口明子、石川義孝、岡橋秀典、近藤章夫、
田原裕子、中澤高志、中谷友樹、橋本雄一、浜口伸明、氷見山幸夫、増田 聡、宮町
良広、森本 泉、山川充夫、山崎孝史、山下 潤、山本佳世子、横山 智、吉田道代、
渡辺浩平

議事概要

1. 前回議事録の確認

松原委員長より、第 25 回第 1 回分科会の議事要旨（既に承認済み）について説明がなされた。

2. 新型コロナウイルス感染症に関する問題の整理

以下の 3 つの報告と質疑応答が行われた。

- 1) 中谷友樹 連携会員（東北大学大学院環境科学研究科先端環境創成学専攻教授）
「COVID-19 流行の地理情報の利用について」

中谷委員より、空間疫学と流行地図のこれまでの歴史をふまえ、GIS を用いた国内の時空間流行マップの分析例や海外の大都市の事例などが紹介され、COVID-19 対策への GIS 活用のための課題が報告された。

- 2) 松原 宏 第一部会員（東京大学大学院総合文化研究科教授）
「ウィズ・コロナの下での地域政策に関する資料について」

松原委員長より、前回に引き続き、ウィズ・コロナにおける地域政策の動向について、新型コロナ対応の地域差、国土政策のあり方、地域経済産業政策のあり方、地方創生のあり方の各トピックについて、関連する省庁の資料をもとに報告がなされた。

- 3) 山本佳世子 連携会員（電気通信大学大学院情報理工学研究科教授）
「他の学術団体の動きについて」

山本委員より、防災学術連携体における COVID-19 に関連したテーマの研究会の開催状況について報告がなされ、日本公衆衛生学会と日本計画行政学会との共同ワークショップ企画が紹介された。

3. 「パンデミックと社会に関する連絡会議」への対応について

当分科会として、今後連絡会議に積極的に関わっていくことが確認された。

4. 今後の分科会の活動について

松原委員長より、年度内の分科会の開催予定と今後の活動について報告がなされた。

5. その他

特になし。